

上下水道・ガスをはじめとした ライフライン・インフラの防災対策 について

【上下水道・ガスの耐震化について】

令和6年5月
企業局

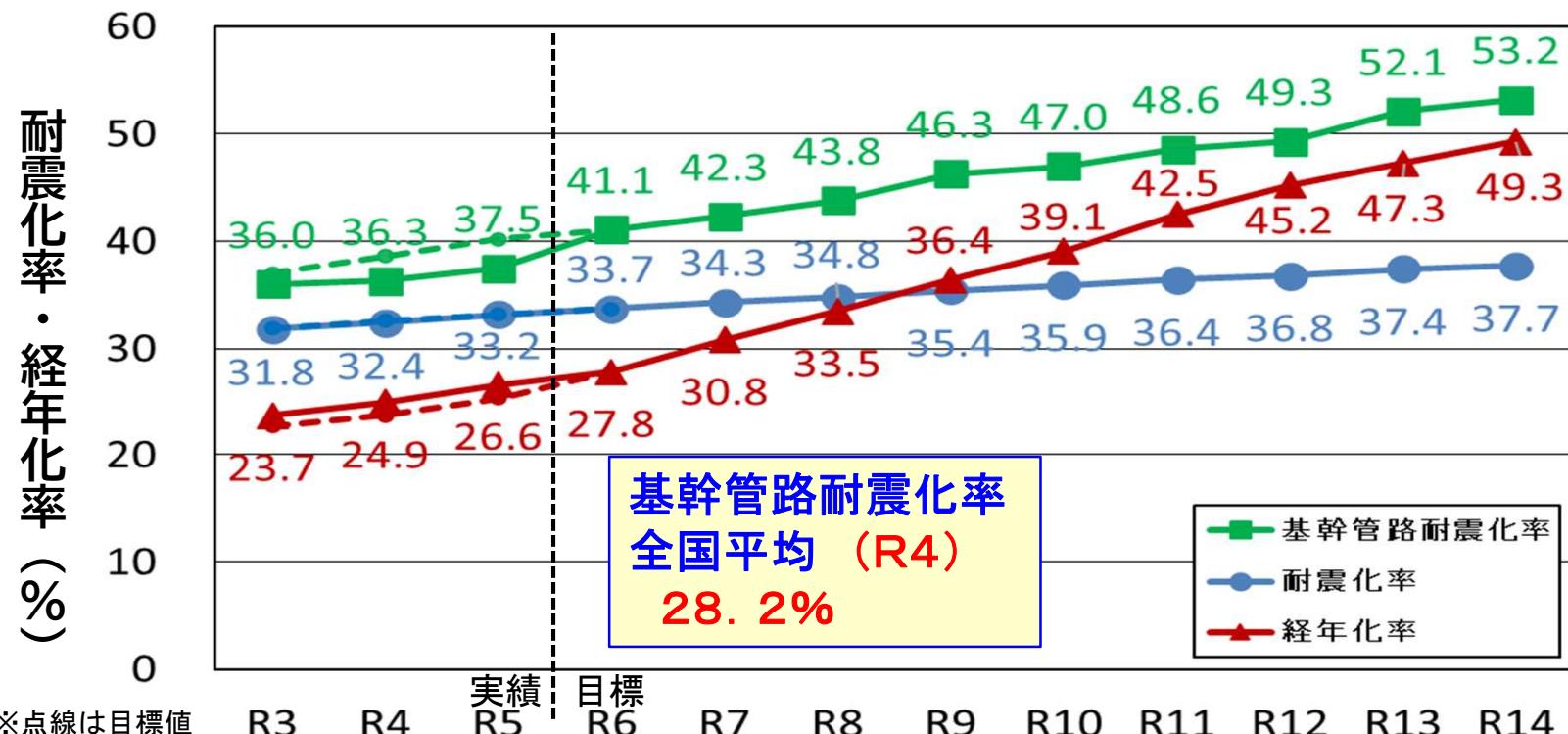
【目次】

1 水道施設の耐震化について	・・・・・・・・	3頁
2 下水道施設の耐震化について	・・・・・・・・	6頁
3 ガス施設の耐震化・安全対策について	・・・	9頁

1 水道施設の耐震化について

①管路の耐震化率・経年化率の推移

- 管路の更新・耐震化は経営計画に基づき、計画的に実施している
- 特に災害時の影響範囲が大きい基幹管路を優先的に実施

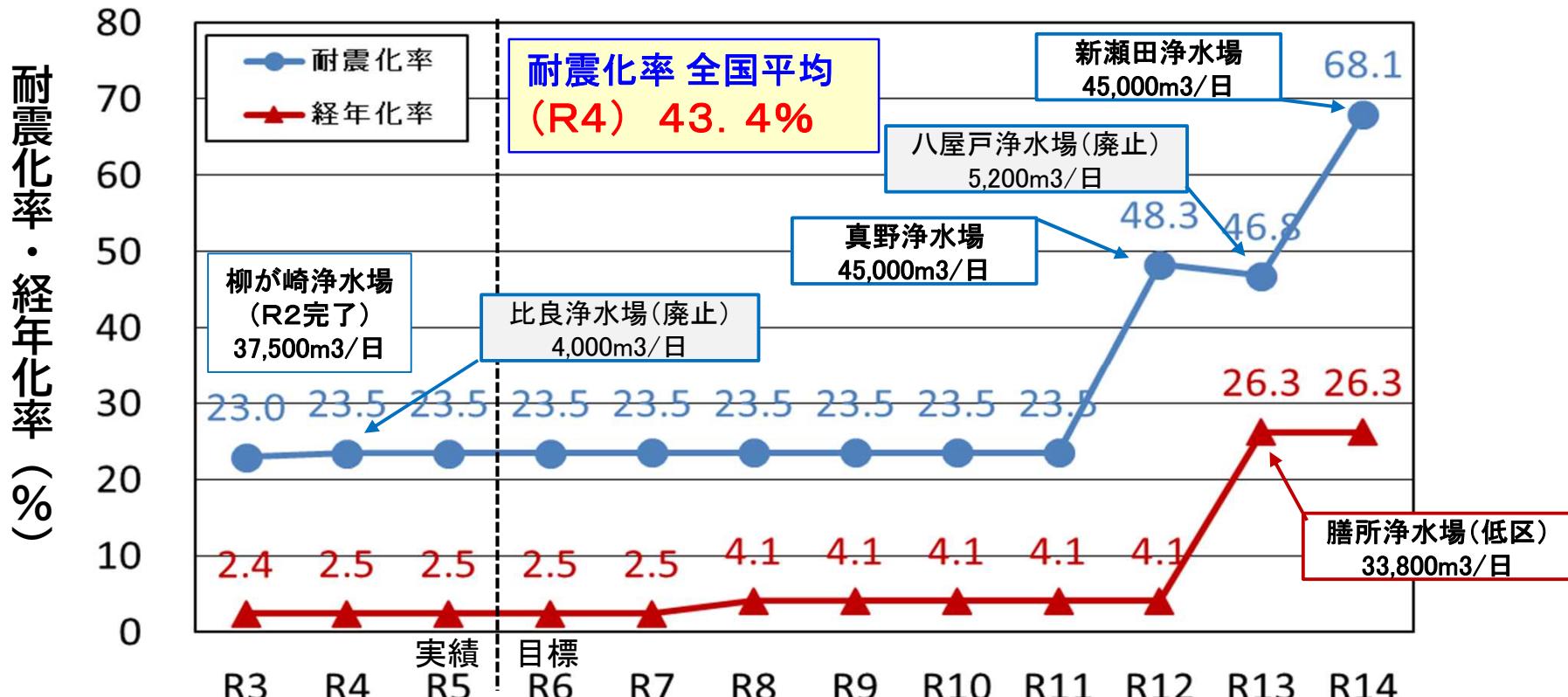


目標項目	R5	R6	R10	R14
基幹管路 耐震化率	目標 40.2%	41.1%	47.0%	53.2%
実績	37.5%	-	-	-

1 水道施設の耐震化について

②浄水施設の耐震化率・経年化率の推移

- 浄水場統廃合を推進し、主要浄水場(柳ヶ崎・真野・新瀬田)を更新・耐震化
- 真野・新瀬田PFI事業の中止により、事業計画の見直しが必要

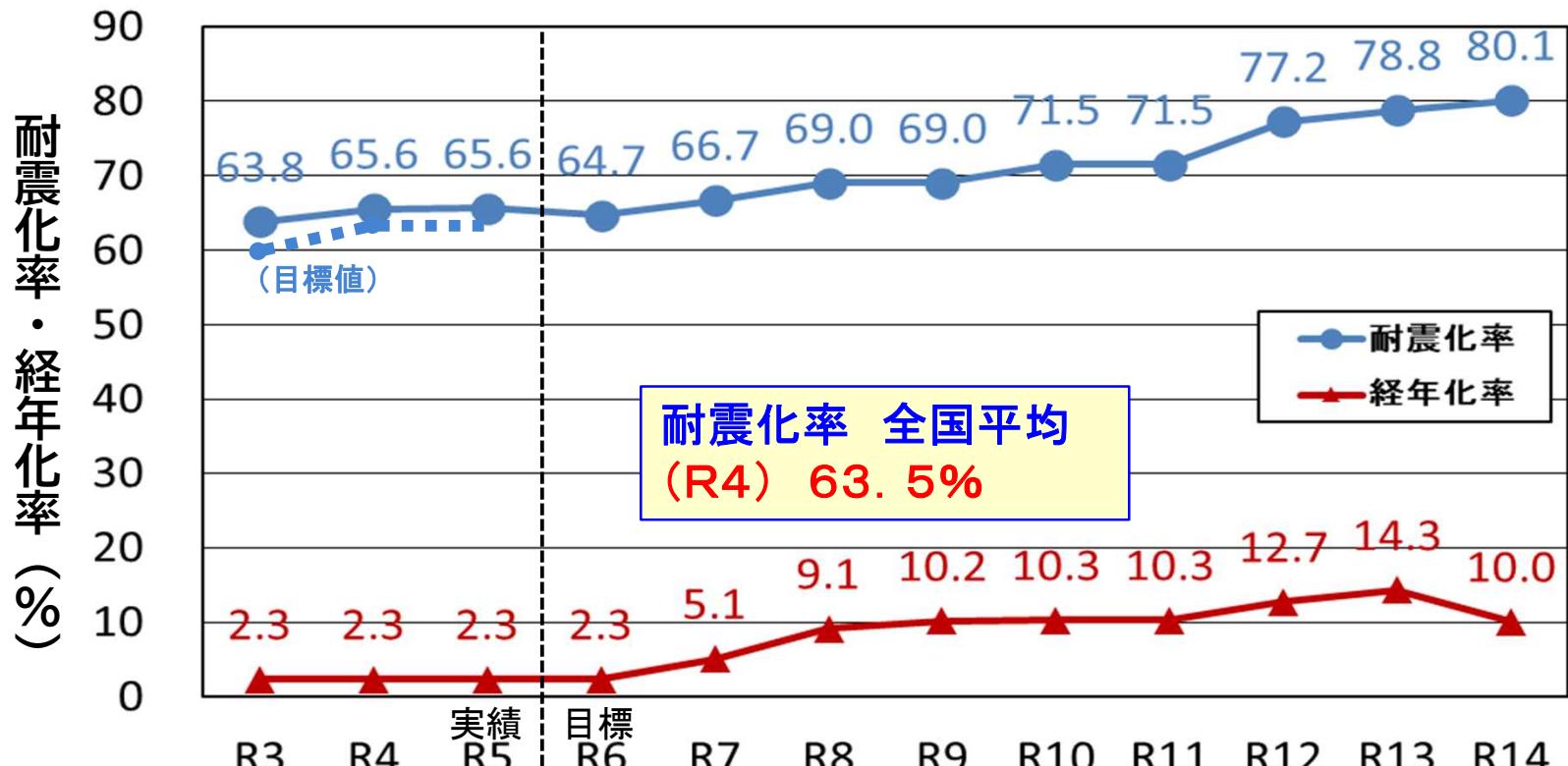


目標項目		R5	R6	R10	R14
浄水施設 耐震化率	目標	23.5%	23.5%	23.5%	68.1%
実績		23.5%	-	-	-

1 水道施設の耐震化について

③配水池の耐震化率・経年化率の推移

- 耐震診断の結果、耐震基準を満たさないと判定された配水池を対象に、計画的に耐震化工事を実施

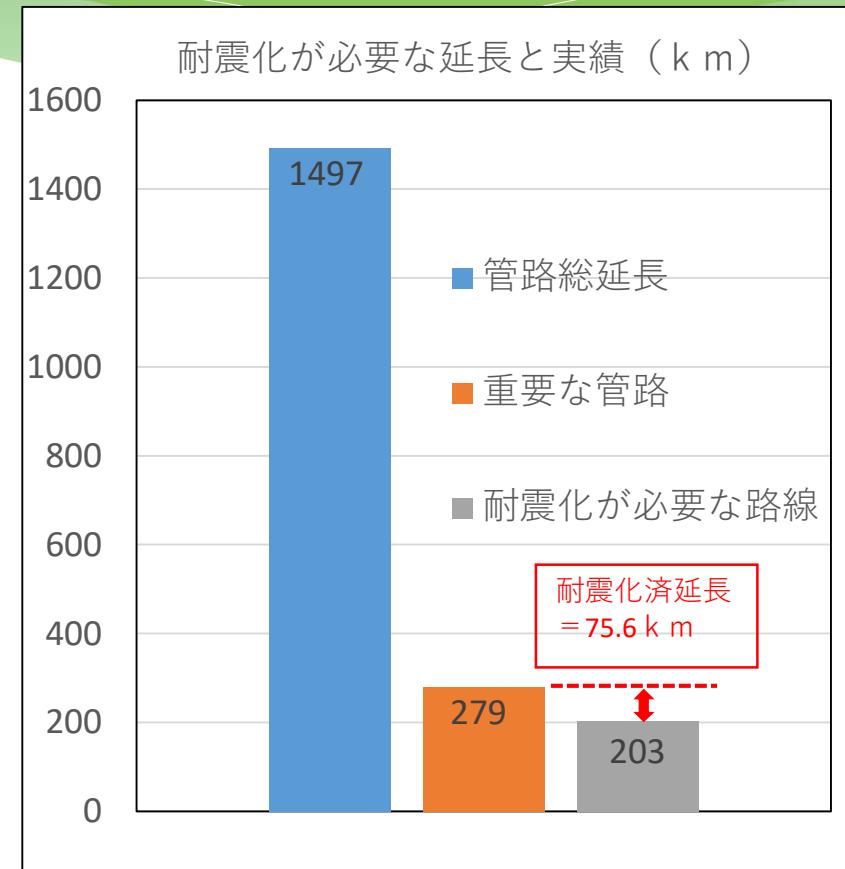
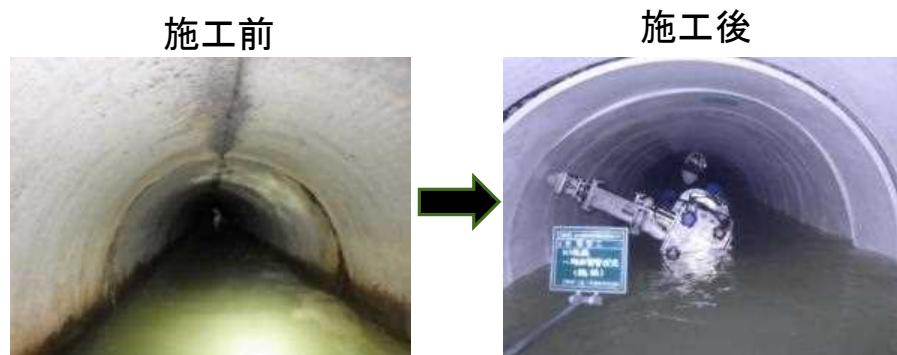


目標項目	目標	R5	R6	R10	R14
配水池 耐震化率 (浄水池含む)	目標	62.5%	64.7%	71.5%	80.1%
	実績	65.6%	-	-	-

2 下水道施設の耐震化について

①管路の耐震化について

- 全ての管路1,497kmのうち279kmを耐震化上重要な管路（災害時の防災拠点や医療拠点となる救急告示病院などの排水を受け持つ管渠等）として位置付け、計画的に耐震化を実施している。



目標項目	R 5	R 6	R 10	R 14	
重要な管路の耐震化率 (%) = 耐震化済み延長/重要な管路延長	目標	26.7	27.0	28.0	29.2
	実績	27.1	-	-	-

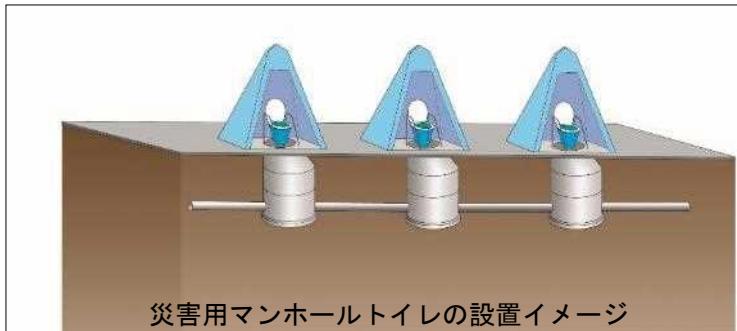
2 下水道施設の耐震化について

②今後の取組み（管路施設）

- 第2期総合地震対策計画（平成30年～令和9年）では、大津市民病院をはじめとする救急告示病院や大規模な避難所と処理場を結ぶ管路について計画的に耐震化を実施

【主な対象路線】

- ①大津赤十字病院下流（実施中）
- ②大津市民病院下流（実施中）
- ③滋賀病院下流
- ④滋賀医科大学病院下流（実施中）
- ⑤日赤志賀病院下流
- ⑥瀬田公園下流（実施中）
- ⑦滋賀大学下流 等



災害用マンホールトイレの設置イメージ



2 下水道施設の耐震化について

③処理場の耐震化

- 水再生センターの再構築事業は、現有処理能力を保持しつつ、施工可能な段階的整備計画
- R4より着手した第1汚泥処理棟解体の第0期工事からⅡ系水処理施設解体の第6期工事までの事業期間は約31年となる見込み

（）

第0期工事（R4～5）



第1期工事（R5～10）



第2期工事①（R11～14）



第2期工事②（R15～19）



第3期工事（R20～22）



第4期工事（R23～27）



第5期工事（R28～32）



第6期工事（R33～34）

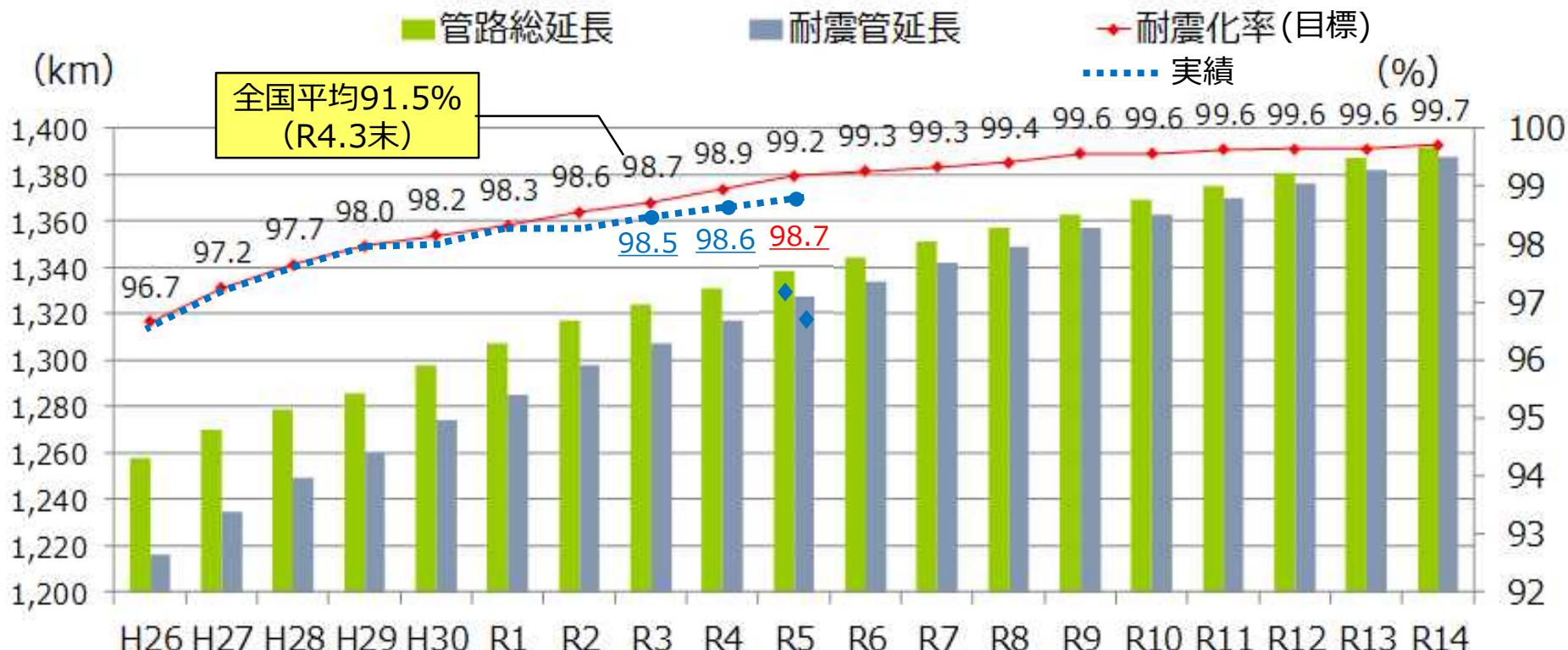


目標項目	R5	R6	R10	R14
処理場、ポンプ場の耐震化率 (%)	目標	85.7	85.7	92.9
	実績	85.7	-	-

3 ガス施設の耐震化・安全対策について

①管路の耐震化について

- ガス管路の耐震化率は、全国平均を大幅に上回る98.7%
- R14年度の99.7%の目標に向けて引き続き対策を進める



目標項目		R5	R6	R10	R14
耐震化率 (%)	目標	99.2	99.3	99.6	99.7
耐震化率 (%)	実績	98.7	-	-	-

3 ガス施設の耐震化・安全対策について

②地震時のガス遮断(2次災害防止)

- ガスをご使用の需要家宅は、震度5程度で自動的に供給遮断
- 震度6程度で地区整圧器が自動遮断

